

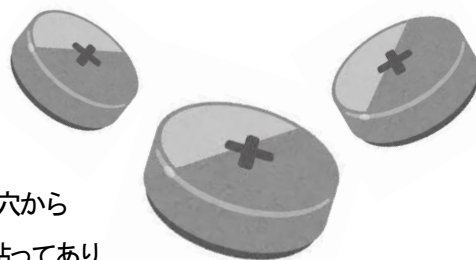
まめちしき
豆知識

長崎県の場合、申請することで補聴器を2つ取得することができます。ただし、卒業して社会人になると1つしか取得できません。補聴器申請の時期が近い人は、卒業前に申請をして2つ取得した方が良いと思います。詳しくは自立活動部の先生に尋ねてみてください。

あなたの電池は大丈夫？

今回は、補聴器や人工内耳で使用する丸い電池のお話です。

人によっては“ボタン電池”とか“マメマメ電池”とか言っていますが、正しい名称は“空気亜鉛電池”と言います。空気亜鉛電池は、電池に開いている穴から空気を取り込むことで発電することができますので、新品の電池にはシールが貼ってあり、空気が入らないようになっています。一度このシールをはがすと発電が開始されますが、しばらく使わないようであれば、もう一度シールを貼ることで発電を止めることができます。完全に止めることはできませんが、こうすることで電池が切れるまでの時間を長くすることができます。ただ、新品の電池に貼ってあるシールは直ぐに捨ててしまう人がほとんどだと思います。「それなら、代わりにセロテープを貼っておこう」と思う人もいるかもしれませんが、セロテープだとはがしたときにテープのネバネバが電池に残って空気を取り込む穴をふさいでしまうので、テープをはがしても発電しない可能性があります。シールを貼るのであれば、もともと貼ってあったシールを取っておいて使うのが良いでしょう。



この時期になると、電池が直ぐに切れてしまうと感じる人はいませんか？ そう言えば、夏場に比べて電池を買いに行く回数が多い気がすると思う人もいるかもしれません。実際、気温が下がると電池の発電能力が下がり、切れやすくなると言われています。また、この時期はただでさえ空気が乾燥しますし、ましてや部屋の中では暖房器具(ファンヒーターやストーブ)を使用しますので更に空気の乾燥が進んでしまいます。すると、部屋の中が乾燥ケース(ドライケース)のようになってしまい、電池の消耗が進んでしまいます。社団法人電池工業会によりますと、部屋が乾燥した状態で電池を使用すると、電池寿命が64～77%程度に短くなることが報告されています。また、乾燥ケース(ドライケース)の中に入れてしまうと、電池寿命は54～65%程度にまで短くなってしまいます。では、電池を長持ちさせるためにはどうすればよいのでしょうか？

電池の大敵は乾燥です。乾燥しないためには部屋の換気をこまめに行うことが重要となります。それと、電池を乾燥ケース(ドライケース)には入れないことも忘れてはいけません。これらの対策で電池を長持ちさせましょう。ちなみに、冬場は発電までに時間が掛ることがありますので、新しい電池を使用する際はシールをはがして1～2分待ってから使用するようにしましょう。また、電池が冷えているときは、体温で温めてあげるのも効果的です。



最後にもう一つ…電池の残量をチェックするなら夜(寝る前)の方が良いでしょう。

電池はしばらく使わないで置いておくと少し回復する特徴があります。しかし、その回復は一時的なものですので、また直ぐに切れてしまいます。寝ている間に回復した電池を朝からチェックすると「まだまだ大丈夫」と勘違いすることがあるので、一日の終わりに電池の残量をチェックしてから寝るように心掛けましょう。

日頃から気を付けていても、いつ電池が切れるかわかりませんので、より良い聞こえのために予備の電池は常に持ち歩くようにしましょう。

冬の補聴器・人工内耳に注意しましょう

- **結露**・・・冬場は外気との温度差が大きいので、結露が生じやすくなります。補聴器が聞こえないと思ったときは、まずは電池ですが、チューブに水滴が入っていないかどうか確かめてください。チューブの中に少しでも水滴があると、音が出なくなりますので、もし、水滴が入っていたら、こよりで吸い取ってください。



- **静電気**・・・冬は空気が乾燥して静電気が起きやすいですね。静電気で人工内耳のマップ（プログラムの内容）がとんでしまうことがあり、そうなると再度、病院で調整が必要になります。また、補聴器も人工内耳と同様「精密機械」なので、静電気で壊れることがあります。プラスチック製の滑り台や人工芝の草スキーは静電気が起きやすいので、補聴器や人工内耳を外して遊びましょうね。



静電気の対処法は・・・？

- **静電気の起こりにくい環境にしましょう。**

湿度を20%以上にしましょう。

暖房するときは霧吹きを使ったり、加湿器を使ったりしながら乾燥しすぎに注意しましょう。



- **静電気の起こりにくい服装を心がけましょう。**

衣服の素材に注意しましょう。

ナイロンとウールを重ねて着ると静電気が起こりにくいのですが、アクリルとレーヨンを重ねて着ると静電気が起こり易くなります。

静電気がたまっている場合は、金属等に触れると静電気が逃げるので、人工内耳や補聴器を触るときは金属等に触れてからにしましょう。



3月の「耳とことばの相談」は18日（土）（13：00～15：00）です。

（14：00以降に来所すると比較的待ち時間が短いようです。）

「耳とことばの相談」では、

- 定期的な聴力検査ができます。
- 身体障害者手帳の申請や再認定、等級変更ができます。
- 補聴器取得の申請ができます。

※特別児童扶養手当などの書類は書くことができませんので、ご注意ください。